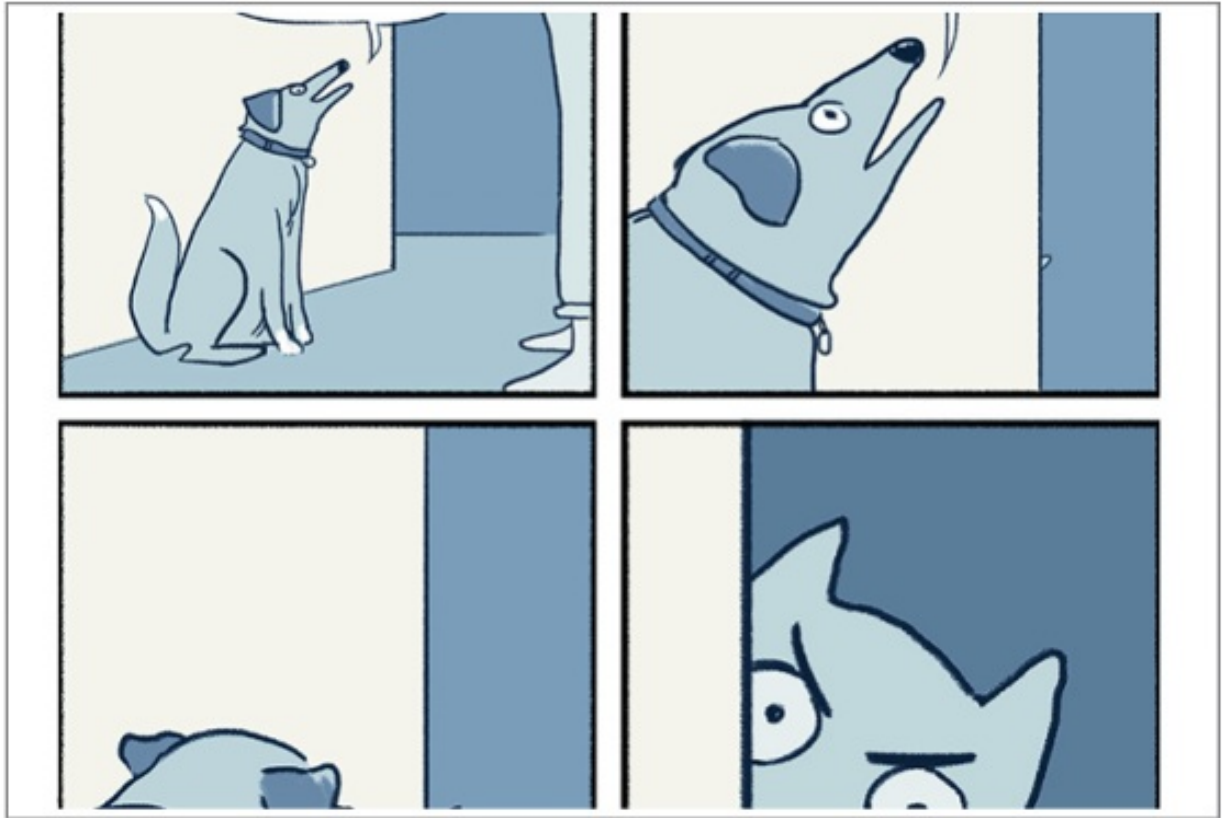


私たち



Mooicco9

2017.6.9

「ねえ、何で空ってあるんだと思う？」

「きっと、空を飛んでみろって言っているんだ」

「そんな空って生意気なの？」

「生きている上で一番高いからな」

両親につけられた名前は山と仁次は1だといつもの話題だ、見て今日はいつも怒っているおじさんが笑いながら歩いているよ、今日は機嫌がいいな、ちょっと探ってみよう、二人は身近の噂の真実を暴くのが日課、小さな宝物を集めるのが楽しいのだ。あのおじさん昨日飲みに行って、綺麗な人と一緒になった、それにしても上機嫌だよな、きっと他に何かあるよな、二人は近所の友達に聞いて見た、ほらいつも怒っているおじさんなんか上機嫌でうちの前を通ったんだ、なんか知らないか？情報。確か下のらんちゃんちあるだろ、確かあそこにすごい美味しいお酒があるらしい、それでも飲んだんじゃないか？お酒か。なんかお酒の場でも綺麗な女の人と飲んだらしいぞ、どこの酒場だ？いつものところだ。あそこか。どっかの娘じゃないのか？あそこじゃどっかの娘だ間違いない。よしらんちゃんのところに行ってみよう。らんちゃんいるかーい。どうしたのツースリー。いやなんかさいつも怒っているおじさんが機嫌が良さそうだったからなんか知っているかと思って。昨日うちに来たわよ。あーやっぱり、お酒飲んだ？飲んだ。それだ怒っているおじさん超機嫌よかったよ。あら、そうなの、うまいうまいって言っていたし、わしも海外にこのお酒買いに行くって言っていたわ。来週には行くって行っていたわ。なにー。お酒を飲みに行くと？こりゃ大変だ。だから上機嫌なのよ。だからか、、、そ、そのお酒は今あるのか？未成年だから飲まないけど、匂いだけ嗅がしてくれないか？ダメよ、本当にいい匂いがするの。しかも高いからとられないように開かなくなっているのよ。なんか美味しいおやつとかはないの？んーちょっと待ってね。あの怒りん坊おじさん、海外かー、俺たちも行きたいね。じゃさー泊だけどっか行こうよ。パパとママには内緒でらんちゃんちに泊まるって言ってさ。どこ行く？お金ないじゃん、あー金ない。じゃあさ自転車で行こうよ。それなら何とかなるじゃん。うーん。美味しいクッキーあったわよ、これはフランスのクッキーよママが美味しいって言ってた。らんちゃんは食べたの？私は食べてないわ、じゃあ一緒に食べようよ、パク、、、美味しい。この借りは明日返すからうちに明日おいでよ。うんわかったわ。いやーこんなうまいクッキー初めて食べた。わがまま言ってよかったね。あーよかった。でも明日らんちゃん来てもうちに美味しいものあるのか？美味しいだぞ、あんな美味しいクッキーもらったんだから。そうだな、うちに美味しいものはない。だからどっかからもらってくるしかないな。そうだしそれしかない。いや、食べ物じゃなくて、プレゼントなららんちゃん喜ぶんじゃないか？俺らんちゃんのこと嫁さんにしようと思っているんだ。え、、、それは本当なのか？あに。あー本当だ、永久的に一緒にいようと言いたい、そんな時は仁は離れているよ。兄者なら大丈夫だ。仁は好きな人はいるのか？それは秘密だ。そっかできたら教えてよな。それよりプレゼントはどーするんだ？やっぱり指輪だよな。そーだ指輪だ。じゃあお母さんの部屋にそーっと入って、でも、それだとあ

んまり良くないよ。将来一緒になるのにそれは良くない。じゃあ作るか、それだ作ろう。でも指輪ってどう作るんだ？わかんなかったら先生だ。よし先生に会いに行こう。二人はダッシュで学校へ向かった。職員室に行くと先生がいた。先生明日指輪が必要なんです。どうやって作ればいいですか？指輪？なにに使うの？告白するんです。誰に？秘密です。そうなら私が美術室一緒に作ってあげるわ。ありがとうございます。二人はドキドキで美術室に向かった。先生は作った指輪をプレゼントするなんて素敵ねと言った。きつらんちゃんじゃない？山くん仲良しだもんね。でもね仲良しは仲良しの方がいい場合もあるわよ。でもね、好きなら男らしく男を見せるの、まだ三年だけど今を大切にできる事はこの先ずっと大切にできるって事だと思うわ、頑張るって。僕本気です。そうならこの指輪もきつと喜ぶわね。あとは乾かすだけだからちゃんとプレゼントするのよ。はい。二人は兄者本当告白するのか？あー俺は本気だぜ。俺はまだ早い気がする。まだ三年だぞ？この先長〜い道が待ってる。それを今決めるのは早いで。せめて小六になってからだ、そうだよな、気持ちはわかるぞ、でもな先生にも言ったし、もう後には引けない、仁も好きな人ができたらわかるんだ。俺は何となくだけど振られる気がする、だって小三だぞ。早いで。向こうにも未来があるだろ。そ、そうだな、じゃあこの指輪は小六になったらあげよう。そうだ、その方がいい。じゃあ明日お返しどーすんだ？手作りでなんか作ればいいじゃんママに教えてもらって。そうか、その手があった。二人はダッシュで自宅に戻る。ママ、らんちゃんにクッキーもらったからお返ししたいんだけどなんか一緒に作れないかな。そうねパフェなんていいんじゃない？パフェ？一緒に玄関で食べたら、食べたい。今から作れるの？作れるわよ。じゃあ今から作ろう。いつも使っているグラスに切ったバナナを入れ、生クリームを入れ、いちごを入れ、コーンフレークを入れ、チョコホイップをかけて完成！どう？いい出来じゃない？ママ最高！お腹すいたから食べたい。ダメよ、これは明日まで我慢。仁が泣き出す。今食べたいー。山が仁明日食べれるから我慢しろよ。お前クッキーもらったろ。お返しだ。そして山も泣き出してしまった。食べたいー。そうね、じゃ食べちゃいましょ。明日は明日の風が吹くし、私が美味しいなんか買ってきてあげるわ。そして二人はパフェを食べた。めちゃくちゃ美味くない？これ俺たちの手作りだぜ。やばいな。これまじやばいな。特に生クリームの優しさがフルーツを引き立てているね。チョコもフルーツと相性が半端ないな。でもらんちゃんにプレゼントするはずが食べちゃったな。だって美味しそうだったんだもん。でも悪い事しちゃったな。山が泣き出す。釣られて仁も泣き出す。食べちゃったよー。美味しかったよー。らんちゃんー。そうすると怒っているおっちゃんが現れて、よ、なんか美味しいものないか？ママがパフェがあるわよ。おっもらえるなら。ママダメー。そそうかもう一個あったそれはらんちゃんのためのパフェ。ダメダメえー。それ明日らんちゃんが食べるから。あんたたち食べちゃったんだし。おっちゃんにあげるわ。エー。二人は号泣した。おじちゃんも美味しそうにパフェを食べている。二人はこの絵は忘れはしないだろう。

二人はおっちゃんパフェ食べるのショックで泣きじゃくってそのまま寝てしまった。今日は日曜日、大好きならんちゃんがいつ来るかドキドキしていたがそれまでドキドキしている時間ももったいないと思ったので、仁、今日は何かこの街に問題はないか散歩に行くぞ。そうすると仲良しのゆうやがいた、ゆうや何してんだ？初めてのマックを一人で食べに行くんだ。オォー俺らも

付き合うよ。な、な。ダメだって俺分の金しかないもん。一人ってのがいいんだよ。俺マック好きだから一人で食べてみたいの、わかるこの気持ち。一人でマック食べたって美味しくないだろ。俺たちがついて行ってやるって。な、な。じゃあ俺の金だしな。じゃんけん勝負だな。いいか？いいだろう。じゃんけん、ゆうやは後から出した。ポイ。ゆうやは勝った。だが、二人はノリで店までついて行って、そこでは何も食べなかったが、邪魔をした。そして最後にお前たちが今度俺に初ゴチをしろと言った。仕方ない、今ゴチしてやるよとスマイルをあげた。そうじゃない俺の大好きなナゲットをくれわかったな。あーいつか必ず。この後なんかあるのか？特に要はないじゃあなんか近くの丘で綺麗な夕日を見れるところがあるらしいから行って見るか。遠いのか？話だとそんな遠くない。30分くらい歩いて丘についたしかも昼前。今から夕日待つのか？ちょっと早かったなー。戻るのもだるいしでも昼御飯食べたい。いいかこの瞬間を忘れるな。これが俺たちの夕日だ、太陽は太陽だ。いや違う月だ。そうか。ロマンチックに夢でも語って帰ろうぜ。将来は何になりたいんだ？俺は冒険家、ゆうやはなに？まだわかんない。仁はトンネル掘る人。じゃそれを歌にして歩きながら帰ろう。えーやだよ恥ずかしいし、いやいや若いからできる事もあるだろ。三人は冒険わかんないトンネルが夢なんだ。夢叶えーと家に着くまで歌った。そして僕らが遊んでいるうちにらんちゃんは来てしまった。そしてなんと母が昨日作ったパフェとおんなじのを作ってもてはやしたそう。そしてらんちゃんは山に手紙を書いたそう。そこにはらんは山が好きと書かれていた。